

佐賀県スキー連盟は新型コロナウイルス感染拡大予防に努めます

スキー等の教室、合宿、大会等に参加される皆さんに守っていただきたいこと

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること
 - 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合や過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- 活動会場への入場時は検温を受け、発熱等の症状がある場合は参加を控えること
- マスクを持参すること(参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること(アルコール等については連盟で準備できない場合もあるので、できるだけ各自で準備すること)
- 他の参加者、コーチ等との距離(できるだけ2mを目安に(最低1m))を確保すること
- 活動中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために、指導者やコーチからの指示に従うこと
- 活動終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、連盟の担当者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- 活動の前後のミーティング等においても、「三つの密」を避けること

参加者がスキー等、トレーニング等を行う際の留意点

- 参加者同士の十分な距離を確保し、活動場所が室内の場合は換気も積極的に行うこと
 - 活動の種類に関わらず、活動していない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(感染予防の観点からは少なくとも2m)を空けること
 - 強度が高い運動の場合は、呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けること
 - 雪上での滑走時など、マスクをしていない場合にも、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要があること
 - リフト、ゴンドラ等に乗車する際は、マスクを着用し、会話を控えるなどの感染防止を図ること
- 雪上での滑走時だけでなく、トレーニング時は近くの人呼吸の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと
- タオルの共用はしないこと。トレーニング器具等に汗などが付着した場合は各自で拭き取ること。
- 飲食については、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話しながらの飲食は控えること。スポーツドリンク等の水分補給は各自で行い、取り分けや回し飲みはしないこと。特に昼食時、休憩時のレストラン等での飲食には最大限の注意を払うこと。

佐賀県スキー連盟が取り組むこと

- 佐賀県スキー連盟では、感染拡大に向けた取り組みとして、上記事項の呼びかけを随時行いきます。
- マスク、消毒剤等の準備は可能な限り個人での準備をお願いしますが、連盟としても万が一に備えます。
- 感染防止を図ることができないと判断した場合は、安全面を優先し活動を中止することもあります。

このチェックリストは日本スポーツ協会作成「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」をもとに佐賀県スキー連盟で取り組むべき内容を作成(参加者用と主催者用を統合)したものです。2020/8/12 作成